

再会

ふと立ち寄った書店で、探していた本を見つけた。
探していたのだが、絶版になっていて、手に入らなかったのだ。

以前、古書店で見つけて、手に入れていたものが、あったのだが、これは「1965年07月31日発行（定価320円）」の新書版で、発行当時は普通だったのだろうが、今、読んでみると、どうにも翻訳が「硬い」という印象を受けてしまった。

その後、ネットで検索していて、1000円を切る値段で文庫版の古書が出ていたので、手に入れた。

これは、「1974年05月31日発行（定価 420円）」で、たぶん私が初めて手に入れて読んだのは、この版だったと思う。

当時手に入れた本は（捨てた記憶が無いので）文庫本をまとめて入れたダンボール数箱のどれかに残っているはずなのだが、ダンボール箱そのものが、数ヶ所に分散されている状態になっているので、2、3箱を開封して探したこともあったのだが、結局見つけれないままになっていたのだ……。

探していた本というのは、アイザック・アシモフ著の「はだかの太陽」というSF小説で、臨床心理学関係のネタ話に引用してみようと思って、原版（翻訳本だが）で内容を確認したかったのだ。

アイザック・アシモフというと、ロボット工学三原則というアイデアを提示した人として（一部の人に）知られているだろうが、そのSF小説というと、今では（SFの）古典に入りそうな状況で、小説そのものはあまり読まれていないかも知れない……だから、探していた文庫本も、長い間、絶版のままになっていたのだろう……。

翻訳も年月を経るごとに、少しずつ変わってきていた。

物語の出だしの部分（○○の部分、主人公の名前）

1965年版「○○は精神的な動揺と頑固にたたかった。」

1974年版「○○は、ねばり強く不安の発作とたたかった。（「不安の発作」にパニックとルビがふられている）

2015年版「○○は懸命にパニックと闘った。」

時代の経過に伴って「パニック」という単語が、世間に通用するようになって行く様子が読み取れる気がする。

そう言えば1960年代の頃に読んだ別のSF小説で「対力域障壁」（だったと記憶している）単語（訳語）に出合って、漢字の印象から「凄い科学兵器」という印象を受けたことを思い出す。

おそらく原作では「フォース・フィールド・バリア」と記述されていたのだろう……。

今なら、そのままカタカナ表記しても通じるだろうが、当時は「ラッスンゴレイ」くらいに意味不明なカタカナだったのだろう……でも、頑張って漢字表記に翻訳した方が迫力が増すように思えるものもある。

で、SF小説を、臨床心理学のネタにしようと考えていたというのは、どうい
うことなのかと言うと……。

30年ほど前に、カウンセリングについて考えていたときに、「ある環境におい
て、少数派の価値観に属しているために、多数派の価値観との折り合いがつけ
辛くなって、居心地の悪さを感じている人（不適応状態になっている人）」を、「よ
り適応的な状態にする」というのは、カウンセラーの仕事なのだろうか……と
考えたことがあったのだ。

その頃、たまたま私の周りでは「社会適応」というコトバを発する人たちが多
く居て、カウンセリングは、「不適応状態にある人を、適応状態にするのが使命
なのだ」ということを言われることが多かった。

私としては、何か違和感を感じつつも、「社会適応できていなければ、この社会
で暮らしていけないだろう」と言われると、適切な応答（反論）ができないで居た。
そんなときに、ふと、頭をよぎったイメージが、アシモフの「はだかの太陽」
に描かれていた世界だった。

物語の舞台になっているのは「ソラリア」という惑星で、星全体の人口が2万
人で、その人たちの生活のために労働するロボットが2億居るという環境。

人間一人あたり一万のロボットがいるという状況。ちなみに、第2位の惑星オー
ロラは人間一人あたり50のロボットという説明が物語の中で語られている。

人々は立体映像を使ってコミュニケーションをとっているが、直接出会うとい
うことはめったに無いという状況で歴史を重ねてきているという設定……。

物語の中に登場する一人の女性が、誰にも打ち明けられない悩みを抱えていて、
ソラリア人では無い、地球人の登場人物がそれに気づくという場面がある。

それは、「直接、人とかかわりたい、（文字通り）触れ合いたいという思いが湧
き起こってしまう」という（ソラリアでは異常な）欲求を持っているというこ
とだった……というもの……。

もし、ソラリアにカウンセラーが居たら、立体映像でのカウンセリングになる
のだろうが、「多くの人と、暖かい交流を持ちたい」という不適応状態を「必要
に応じて立体映像でコミュニケーションをとり、基本、一人で居る方が平静で
おれ、温もりや匂いを感じられるほど近くで他者と居たいなどと思わない」適
応状態にすることを使命とするのだろうか……。

書店で見つけた文庫本は「2015年05月15日発行（税別定価1200円）」
……なんてこった！（Jehoshaphat!）……（翻訳は変わっているが）同じ内容
の文庫本の値段が、3倍（新書版から4倍）になっている……思わず「シェア
専用か……」と言ってしまう。

まあ、ともかくネタになりそうなインスピレーションが湧いてくれるか……改
めて物語りを読み返してみようと思っている……。

（高石 公資）

イベント紹介・報告

☆5月6日

市役所前フリマ参加

いろいろ寄贈していただいた方もあってフリマの商品が増えましたので2ヶ月ぶりの参加となりました。ちょっと連休最終日ということで人手が少なかったようですが、参加していただいた方はお手伝いありがとうございました。



☆5月9日、16日

集い場2015

今年度の集い場2015の2回目・3回目の実施でした。集い場〇(サークル)活動を6月より始める予定でしたが代表入院のため、広報ができていないこともあって、7月より実施させていただきます。

☆5月15日

ものづくりかふえ

作ったタイルのピンなどの包装などをどうするか、という今回は手作り市などでの出品に向けた話し合いを行いました。



理事長兼事業所長南山の入院に伴う運営の一部変更のお詫び

4月28日に理事長兼事業所長の南山が入院したことにより京都教育サポートセンターの運営状況において一部急遽変更を行いましたこととお詫び申し上げます。変更内容は下記の通りです。6月も一部下記のような運営状況になりますので何卒ご承知おきくださいますようお願いいたします。また、南山不在の期間中面談・問い合わせなどは各曜日に対応担当（前田・新山・山本・片岡）がいますので、ご心配なく、お問い合わせくださいませ。

2015年5月（報告）

- 急遽木曜日を臨時休業させていただきました。休業日5月7日・14日・21日・28日
- 各曜日運営開始時間を11時とさせていただきました。火曜日・水曜日・金曜日・土曜日 通常9：30開始→11：00開始

2015年6月

- 木曜日は運営を再開させていただきます。6月4日木曜日より再開いたします。
- 6月の開所時間を次の通りといたします。火曜日・水曜日・木曜日・金曜日11：00土曜日12：00 閉所時間は従来通り18：00です。

※2015年5月15日現在 運営体制

代表が入院しておりますが下記の体制できちんと運営しておりますのでご心配なくご利用ください。

理事長 南山勝宣（入院中） 理事 高石 岡松
月曜日（ことばのがくしゅうと個別教育予備校MES） 森口 森 中村
火曜日 スタッフ 前田 工藤 森 野村 長谷川 泉 平田
水曜日 スタッフ 新山 中島 河合 長谷川
木曜日 臨時休業中 6月4日より再開いたします。
金曜日 スタッフ 工藤 新山 森 河合
土曜日 スタッフ 片岡 工藤 寺口 青島 村石 石田

ご支援のお願い

○ 寄付会員募集しています（随時）

寄付金額により当所活動「ものづくりかふえ」で作成しているものをお礼として送らせていただいたり、機関紙にお名前を掲載させていただいたり、活動報告を随時させていただきます。ぜひ、当所の活動をご支援くださいますようお願いいたします。ご希望の方、興味をもたれた方には京都教育サポートセンター事業所長がお伺いして説明させていただきます。

○ 広告掲載でご支援いただけませんか？

機関紙に広告・案内などを掲載していただくことでのご支援をしていただけませんか？

KSCE 通信 発行部数 500部 メール添付 カラー版配信11部 合計511部
当所へのご支援として通信への広告などを載せていただける団体・企業・店舗・個人の方、お気軽にお問い合わせください。

お知らせ

今年度京都教育サポートセンター・個別教育予備校 MES にて運営する活動をまとめとしてお知らせしておきます。

○ 学習サポート活動

5 限までは京都教育サポートセンター、5 限からは個別教育予備校 MES にて対応いたします。1 対 2 までの個別指導による学習サポートです。高卒認定試験・大学受験・高校受験・中学受験・基礎錬成・通信制高校レポートや単位認定試験対応・就職に向けた SPI などの対策まで対応いたします。

○ フリースペース

火曜日～土曜日までの朝～18 時まで居場所としてフリースペースを提供しています。自宅以外にゆっくりできる場所として、他人と関わる空間の一つとしてお使いいただければと思います。

○ フリースクール活動（自立支援活動「アポロ」）

レクリエーションイベントや社会活動を年間を通していろいろ実施し、他人と関わることなどの練習の場、経験の場としてご利用いただければと思います。

○ 集い場事業

今年度は年間 20 日、ほとんどが土曜日の 18:00～22:00 を開放して当所の利用生を問わず居場所利用いただけます。

○ 集い場○（サークル）事業

集い場運営を発展させました。一番自由度の高い居場所提供が目的ですが、もう少しだけハードルを下げてサークル活動を設定して、その活動に特化しながら居場所としても利用していただけるようにと考えます。好きなことから入っていきませんか？新規に「カラオケサークル」「ボウリングサークル」「麻雀サークル」を立ち上げ、アポロ事業から移行として「ものづくりかふえ」を行います。

○ 各種相談事業

不登校・ひきこもり・対人関係不安・学校中退などの若者とその支援者に対して生活・心理面などの相談や学校中退からの進学相談、社会の中での生きにくい状況などでの愚痴を話したい、などにご利用ください。

○ 家庭訪問・家庭教師

なかなか通える状況にないけど学習をしていきたい、または家族以外の人と関わりたい、まだ本人は動けないけど親のフォローのためなどに訪問を行っています。

○ お預かり事業

夜まで保護者が仕事などで帰れず、小学生・中学生が家で子供だけで過ごす時間が増えることに対して、コミュニケーションの場、安全な場として学童保育的にお預かりをするコースを設置いたしました。最大で 23 時までお預かりが可能です。スタッフ体制により定員があります。

○ その他

代表南山が当所の活動や16年この分野の若者たちと関わった経験などを話をさせていただいたりもします。広報活動としてお伺いすることもできます。寄付・寄贈などをしていただく際の活動の説明を聞きたい、などにもご利用ください。

○ 2015年度機関紙「KSCE 通信」 メール添付カラー版購読会員募集しています。

内部生・スタッフは無料・関係機関や団体も無料・その他は年額3600円のご寄付をお願いできればと思います。(紙面版購読会員は送料込で年額6600円のご寄付をお願いします(アポロ会員として登録いたします。現在会員の方は1年経過前にまたお知らせいたします)

○ 個別教育予備校 MES と共同運営で

学童保育的に利用できる「おあずかりコース」を今回新設いたしました。学校帰りから保護者様が仕事から戻ってくるまでの間を安全のためなどに夜遅くまでご利用頂けます。学習塾のお預かりですので宿題のサポートをいたします。詳細はお問い合わせください。

※ その他いろいろご支援を募集しています

○教材・教科書・問題集・赤本などご寄贈ください

○フリースペース用マンガ・書籍・コミュニケーション系統ゲーム募集しています

○リサイクルフリマ用 衣類・雑貨・書籍など(売上を寄付金として運営に充当させていただきます)ご寄贈ください

○ボランティアスタッフ募集しています。20歳以上40歳代くらいまで。詳細はお問い合わせください。

○パンフレット等の配架を受け入れていただける方募集しています。

○その他 不要なもので寄贈してみたいもの(お問い合わせください)何でもお申し出ください。

○物品寄贈の御礼

2015年3月から5月にかけて物品の寄贈を下記の方にさせていただきました。誠にありがとうございました。

菱田 様

ホームページ：<http://ksce.jpn.org/>

Blog：http://ksce.jpn.org/?page_id=1234

Twitter ID=ksceleader

フェイスブックページ：<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

編集後記

2015年度はスタッフが多く入れ替わりました
次月に新規スタッフさんの紹介をしてみたいと思います

(南山 勝宣)

2015年6月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---------------------|-------------|----|----|-------------------------|-------------|
| | 1 ことばのがく しゅう | 2 お料理しよう | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 ことばのがく しゅう | 9 | 10 | 11 | 12 パレット清掃 学食 Walk | 13 |
| 14 | 15 ことばのがく しゅう | 16 | 17 | 18 | 19 ものづくりかふえ | 20 外で遊ぼう |
| 21 | 22 ことばのがく しゅう | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 集い場 |
| 28 | 29 ことばのがく しゅう | 30 | | | | |

6月

2日(火) お料理しよう

12:00~13:30 参加費 内部・アポロ会員300円 その他500円

※ 6月は代表復帰時期が未定のため最低限のイベント予定の告知となりました。お詫び申し上げます。

12日(金) パレット河原町清掃活動日

9:30~

12日(金) 学食 Walk

11:30 事務所集合 参加費 内部・

アポロ会員無料 その他100円 他に学食費用・交通費は各自です。

※ 代表が復帰次第、イベント日程を組み直し、順次楽しいイベントを実施させていただきます。

毎週月曜日 16時半~19時20分

ことばのがくしゅう

毎週日曜 お休み

19日(金) ものづくりかふえ

13:00~14:30

イベントはフェイスブックページまたはブログ・ツイッターにて変更や臨時追加など告知いたしますのでブックマークやフォローなどお願いいたします。(ネット環境の無い方はお申し出により電話連絡によりお知らせいたします(月額100円))なお、代表南山のSNSでも告知しております(IDなどは直接南山に聞いてください)。

20日(土) 外で遊ぼう(予定・変更有り)

14:00~ 雨天中止 参加費無料

27日(土) 集い場

18:00~22:00

※ 5月下旬から開始予定だった 集い場○(サークル) 活動は代表入院による広報などの遅れのため7月より開始いたします。

フェイスブックページ

<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

Twitter ID 「ksceleader」

ブログ http://ksce.jp.org/?page_id=1234

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jp.org、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2015年5月20日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター